

平成28年9月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年9月27日(火) 開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 2時40分
2. 会 場 茅野市役所 705会議室
3. 出席委員 教育委員長 吉田 一 同職務代理者 小林 智
教育委員 小林 俊恵 教育委員 小平 光子
教育長 牛山 英彦
出席者 生涯学習部長 木川 亮一 こども部長 牛山 洋治
学校教育課長 平出 信次 文化財課長 守矢 昌文
スポーツ健康課長 鋤柄 敏 公民館長 矢島喜久雄
幼児教育課長 牛山津人志 こども課長 両角 勝元
生涯学習課長 小島 吉彦
教育総務係長 渡辺 雄一 生涯学習係長 上原 平二
こども係長 今井 明彦
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 2名

9月定例教育委員会次第

日 時 平成28年9月27日（火）午前9時30分から

場 所 市役所 704会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第4号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

今回はありません。

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）市議会9月定例会一般質問について

（2）臨時教育委員会について

（3）教育委員会事務局職員の人事異動について

次回定例教育委員会日程について

10月27日（木）午後1時30分「705会議室」

（事務局会議 10月11日（火）午前9時00分「705会議室」）

7 閉会

吉田委員長

只今から、9月定例教育委員会を開催します。

前月の8月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは、報告第1号教育委員長報告をさせていただきます。

9月はいくつかの保育園・小学校の運動会へ参加させていただきました。

5日には中学校の台湾交流事業の結団式がありました。自己紹介等を聞いていく中で、しっかりと国際交流をしたいという気持ちを聞けましたので非常に頼もしい気持ちでした。参加希望者も選ばなければならないほど多かったということで、ありがたいと思います。

また中学校では文化祭があり、15日には北部・東部・永明中学校へ16日には、長峰中学校へ行き、見させていただきました。各委員にも中学校を回っていただきましたので、運動会の感想などと合わせて後ほど報告していただきます。また茅野聖母幼稚園の運動会にも参加させていただきましたが、幼稚園の運動会と保育園の運動会を比べても、大きく違ったところはなく、子ども達は元気に参加していました。保育士の先生、学校の先生がそれぞれの運動会等の行事を、見ることはなかなかできないと思いますが、他の学校を見て、意見などを交換して、よりよい運動会になれば良いと思いました。文化祭などに関しても自分の学校に目が行きがちですので、他の学校など文化祭などを見て、よりよい文化祭にしていいただければと思います。

小林（智）委員

私は、金沢保育園に行かせていただきました。保育園のお子さん、先生方も一生懸命にやっていてよかったと感じました。ただ思ったことは、先生方にご迷惑をかけてしまった点がありました。親教育という部分で、そういったところが残念でした。宮川小学校の運動会に参加させていただきました。いつ雨が降るのか分からない天候でしたので、通常とは違ったプログラムで行いました。かけっこなどの競走を最初に1年から6年までで行いましたが、学年単位の発表は練習がなかなかできない状況かと思いますが、非常にできがよかったです。組体操は、新聞等で怪我の事などが言われていますが、そういった中でも、いろいろと考慮していただいて、見ごたえのある組体操で、保護者の皆さんも「おお」というような声が出ていました。

小林（俊）委員

小泉保育園と玉川保育園、どんぐり保育園へ参加させていただきました。どんぐり、玉川、小泉保育園では、先ほど小林（智）委員がおっしゃったこととは逆で、PTA等の保護者の方が非常に協力的でした。また子どもたちもとても元気に運動会に参加されていて良かったです。

北山小学校の運動会にも参加してきました。雨が心配されていたので、午前中で終わるといようなプログラムで行われました。北山小学校の児童会長の女の子の挨拶がともしっかりしていて、素晴らしいと思いました。組体操のやり方もとても考えられていて、危険がないようにといった内容でした。

泉野小学校の運動会では、少ないこども達ですが、いろんなことを考えてやっていて、素晴らしいと感じました。その中で1、2年生の玉入れがありましたが、そこで英語のテープを流して、その英語のテープでは、体の一部を英語にした言葉が流れて来るというもので、それに合わせて先生が笛を吹いて一斉に投げるといったものでした。球を数える時も英語で発音良く英語で数えていました。小学校1、2年から英語を取り入れていてとてもいいと思いました。5、6年生の組体操を見させていただきましたが、とても素晴らしい出来でした。6年生の担任の先生は組体操が終わった時に涙を流していました。

各中学の文化祭も見させていただきました。ポスターなどを見ると各学校の生徒の感性などが出ていると思いました。縄文科の発表があり、楽しみに小平委員と発表を見に行きましたが、小学校の縄文科の方がレベルが高いように感じました。中学の縄文科はこれではいけないというような感想を持ちました。

小平委員

笹原、中大塩、湖東、豊平保育園の運動会へ行ってきました。どこの保育園でも子どもが一生懸命やっていて良いなと思いました。特に保育士の先生と話す機会がありまして、その際に、ある子が総練習の前まで竹馬が出来なかったのですが、総練習の時にできるようになったという話をとても熱っぽく話していただきました。これがまさに育てること、育てられるということだと思います。保育園も小さい単位ですので、子どもとの接触が小学校とは違った、家族のような接し方だと思います。こういったことが、先生方の励み、こどもに対しての教育なのではないのかと感じました。どこの保育園も運動会を成功させようという気持ちを感じました。

小学校の運動会に関しましては、延期等が重なりまして、まだ参加できていませんので、今日この後、玉川小学校の方で、発表会という形で運動会がありますので参加してきます。

各中学校の文化祭へ行ってきました。最初に東部中学校の文化祭に行ったからかもしれませんが、オープニングの内容が人を引き込むようなとても考えられた内容だなと思いました。他の学校にはありませんでしたが、歴代のポスターが飾ってあり、他の学校とは違ったところに力を入れているのだと感じました。どこの中学校もそうですが、小学校6年

生の子どもたちが見学に来ており、中学校の先生が説明しながら案内をしていました。また小林（俊）委員もおっしゃってましたが、縄文科学習の発表を見させていただきましたが、内容はいつ、何もやったかというものでした。何かもう一步踏み込んだ子ども達の言葉が欲しかったように感じました。

教育長

小学校の運動会に参加して感じたことは、「この運動会に教育的な意味、価値がこれほどあるのか」ということです。その理由として、北山保育園の「縄文大国七色村の運動会」というタイトルでしたが、このタイトルが運動会を象徴したものでした。最初に七色村の「七色」は「虹」を指していると思いましたが、村は何を指しているのだろうかと思いました。年長、年中、年少、それ以外の子、先生達の部屋、会場が一つ一つの村ということでした。このタイトルに保育園としての保育と教育の意味合いが表れていると思いました。笹原保育園では、中心にポールが立っていて、その下に、草がありますが、その草があるところを刈って海賊の船といった形にしていました。それぐらい大人の方が保育と教育に願いをかけているかが表れていました。これは行事であっても教育がとても考えられていると感じました。小学校の先生も、自分たちの運動会が1番というように思うのではなく、保育園児でもここまでやるといったことを感じて欲しいです。

吉田委員長

小学校の運動会で、米沢と湖東に行きましたが、湖東の小学生の走力が私が思っていたより落ちていました。どういうことかということ、私は北部中学校の出身でしたので、湖東の子はとても足が速いイメージを持っておりました。ところが今年見た時に米沢と比べて、そんなに変わらない、場合によっても遅い学年もあると感じました。スクールバスの影響かなと思いながら見させていただきました。スクールバスを必要だと思いますが、意外と茅野の子どもの脚力が弱いので、そこの部分も考えていかなければいけないかなと感じました。永明中学校の開催式を見ましたが、テレビの影響というものは外せないと思いました。本当の意味でのオリジナリティというものをどこかで見せてくれれば良いかなと思いました。

教育長

9月は私が体調を崩していたことと、保育園、小学校の運動会については、先ほど説明させていただいたとおりということ、市外での会議等は、市内の会議と被っていたこともあり、9月の報告についてはお配りした資料の通りになります。

吉田委員長

次に報告3号各課から報告をお願いします。

[各課から9月行事予定について報告]

資料（報告3号）

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告4号）

吉田委員長

次に議案1「市議会9月定例会一般質問について」こども部長からお願いします

こども部長

矢島正恒議員から、市内小中学校の読書活動の推進及び学校図書館の充実についてということで、1つ目に茅野市が学校教育の基盤として推進している読書活動の現状と今後の進め方についてということで質問をいただいております、回答としましては、茅野市では、教育成立の根幹に読書を置き、学校教育の基盤にも読書活動と学校図書館利用を据え、学校経営に取り組んでいる。また、学校長を学校図書館長として任命し、読書活動の充実を目指し学校経営に取り組んでいる。こうした読書活動が評価され、平成24年から市内4小学校が「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞している。2つ目に学校図書館の機能充実を図るための環境整備についてということで質問をいただいております、回答としましては、学校図書館は、児童生徒の登校時から下校時までの開館に努めることが望ましいが、茅野市の学校図書館司書の勤務は週4日勤務で、毎週水曜日が不在日となっている。本年度から1名増員し、大規模校への応援や新人司書への指導を行っている。今後、学校図書館のできる限りの機能充実、人的体制の整備など環境整備に努めていきたい。

伊藤正陽議員から、よこうち保育園の認定こども園化と、市の保育・幼児教育施策についての質問をいただいております、1つ目に、認定こども園化のメリット、デメリットは何かということで、回答は認定こども園のメリットは保護者の働いている状況に関係なく入所できるため、1号認定の子どもも小学校入学前まで継続して利用できる。デメリットは、事業者への直接申込みなど、手続きが煩雑になることが挙げられる。2つ目に、住民の不安、要望はあるかということで、回答は、よこうち保育園では在園時の保護者を対象に認定こども園移行に向けての保護者説明会を開催したが、保護者からの不安、要望はなかった。しかし、民営化のアンケート調査では運動支援・音楽指導の費用が高いとの意見をいただいている。3つ目に住民の不安、要望に対する市の対応はどうかということで、回答は公立保育園も個人に帰属する消耗品等については、実費徴収として負担いただいているが、国の経済的支援策として、生活保護世帯等を対象とした補足給付制度があるため、当

市でも補助の仕組みを整え、29年度から運用していきたい。4つ目に認定こども園移行と市の保育・乳幼児教育施策についてということで、回答は子ども・子育て支援法では、施設に対し指導監督の実施を市町村に義務付けている。監査を通して、民営化移行時の諸条件の履行状況とともに、確認していくという回答になります。以上がこども部の回答となります。

生涯学習部長

宮坂武男議員より2020年東京オリンピックによる縄文文化の発信についてという質問をいただいております。1つ目に国内外に向けた縄文文化の発信は、ということで回答は国内向けの発信は、観光パンフレットやポスター、仮面の女神の大型パネルの設置や高速バスにラッピング広告などでしている。平成27年12月から縄文プロジェクトホームページと尖石縄文考古館専用ページを立ち上げた。2つ目に紛争のない世界を目指すオリンピック精神と縄文の精神との共通点は、ということで、回答は、自然文化と共生し、思いやりの心や生き抜こうとするたくましさという縄文の精神は、オリンピック精神と共通するもの。3つ目に波状口縁深鉢を聖火台のデザイン候補にすること、ということで回答は、信濃用火焰街道連携協議会は、国宝の火焰型土器を聖火台にしたいと活動している。波状口縁深鉢を聖火台のデザイン候補として要請していくことは考えていない。

伊藤正陽議員より神奈川県相模原市の障がい者施設で起きた殺傷事件に関する市の対応について、質問をいただいております。1つ目は市はこの事件をどう受け止めたか、ということで回答は、市は障害に対する誤解や偏見を解消し、障害のある人が住み慣れた地域で生涯にわたって安心して生活することができる地域づくりを目指さなければならないと改めて考えさせられた。2つ目に事件後、福祉、生涯学習、学校教育等現場はどう対応したか、ということで回答は、人権教育推進委員会でこの事件に触れ、「時代が変わっても人間の命は尊重されなくてはならない、人の命に差別や偏見があってはならない。今回の事件を契機に改めて人権教育の重要性を認識して欲しい。」と伝えた。3つ目に市はどんな取組を計画しているか、ということで回答は、市は、人権教育と啓発を推進するため、人権教育推進委員会を設置している。社会・学校・企業・保育園・公民館の分野でそれぞれ推進方針と事業計画を定め、進めている。人権教育と啓発は、一過性では効果が薄いため、くり返し行うことが重要。さまざまな場所で進める人権教育と啓発の取組で、折に触れ、この事件の様々な人権問題についてふれることで、市民の人権に対する意識の喚起を行いたい。以上になります。

吉田委員長

次にその他2「臨時教育委員会について」学校教育課長からお願いします。

学校教育課長

来月の予定でも載せてありますが、10月3日、月曜日8時30分から新しい教育委員の辞令交付式、40分より教育委員会を開催します。ここで新教育長職務代理を決めたいと思います。9時15分より教育長、新教育委員が市長のところへ挨拶となっております。

吉田委員長

次にその他3「教育委員会事務局職員の人事異動について」ということでこども部長お願いします。

こども部長

[概要]

10月1日付けで異動となる教育委員会事務局の人事異動について説明。

吉田委員長

承知いたしました。質問等ございませんか。

本日予定されていた議事について、終了いたしました。なにか質問、連絡等ございませんか。

小林（智）委員

金沢小学校の保護者の方からお聞きした話ですが、茅野市の全ての小学校の運動会を秋に行うという内容ですが、その実状などについてお聞きしたいです。

学校教育課長

具体的なことはまだ決まっておりませんが、金沢と豊平小学校については今年は、春に行いましたが、ここで小中一貫という仕組みが成り立ってくると、同じ時期に行事を行った方が分かりやすい。小中一貫を行っていくにあたり、どこの小学校も同じ時期に同じ行事を行った方が、流れがよいのではないかという課題がありました。金沢、豊平は行事の関係で春に持って行ったと思いますが、できれば秋に戻せないのだろうかということで話しております。具体的にいつ行うかなどについては、まだ決めておらず、現段階では各学校に秋にすることが可能か聞いている段階です。

小林（智）委員

小中一貫が行事を統一すること、各中学校園ごとで交流を行うと思いますが、交流ありきの小中一貫教育にしてほしくないという気持ちがあります。それ以外のところで小中一貫が進むべきなのではないのだろうかと思います。PTAや金沢の体協をやっている関係から、なかなか厳しいと思うところもあります。

教育長

私の方からも説明させていただきます。金沢の運動会を秋に持ってきた理由としましては、やはり小中一貫教育ということが大きいです。豊平小学校と金沢小学校が春に運動会を行っておりますが、豊平小学校は小中一貫教育を意識して、完全に秋に寫すという決断をPTAの会談等で述べております。それに対して金沢小学校の校長先生は、春にやりたいと考えております。そう考えておりますので秋に寫すことを保護者の方に言えないでおります。なので保護者の方からは、来年度は秋にやるのか、春にやるのか、どちらなのだろうかという話になっているかと思います。すべては金沢小学校の校長先生が小中一貫教育についてどのように考えているかにかかっているかと思います。事務局の3人の指導主事の先生方は茅野市の場合は小中一貫教育を中心に物事を考えていますので、秋の方に持っていくべきだと考えております。

小林（智）委員

小中一貫ということで、秋に寫すということですが、なぜ秋に寫すのが小中一貫になるのかということを明確にしないと地域では、受け入れられないと思います。

教育長

よって今、一番苦しいのは小中一貫教育を実現したいということを、どうやって地域住民に理解していただくかだと思います。校長先生がどうであろうと、地域の方がどうであろうと、茅野市の教育を考えた上で、どうするかというのを、学校、または地域の方でもう少しだけ考えていただきたい、そんな状況です。

吉田委員長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、10月27日木曜日午後1時30分から、事前を午後1時00分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で9月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年10月27日

茅野市教育委員会 委 員 長

同職務者代理

委 員

委 員

教 育 長

こ ども 部 長